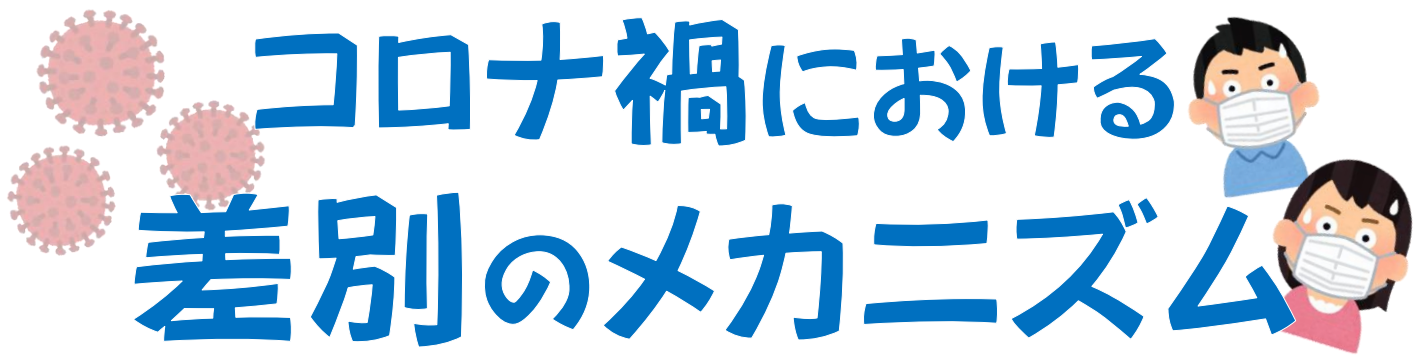


コロナ禍における 差別のメカニズム



学校や職場、地域等に於いてコロナ関連の差別や偏見が広がっています。“看護師の子どもが保育園の受け入れを断られた” “お店の営業を再開したら「なぜ営業しているのか」と電話で罵られた” “地域の掲示板に、感染の不安をあおる張り紙をされた” “公園で遊ぶ子どもに嫌がらせ” “誰から頼まれたわけでもないのに県外のナンバーを付けた車体に傷を付けた”などの行為は「自粛警察」と称されています。自分より下位の人間や事業主に攻撃的な対応をするいっぽうで、政府や自分より上位には無批判な追従が特徴です。

新型コロナの脅威が続く限り、私たちの不安やストレスが軽減されることはなく、同調圧力の強さが一朝一夕に改善するとも思えません。

これらの原因を心理学という科学に基づいた分析を通して、自身の行動を振り返る機会にしましょう。

日時：2021年**6月13日**(日)10:00～12:00

場所：**オンライン**（Zoomミーティング）にて

※6/5(土)11:00～12:00で、今回のZoom研修の練習会を行います。
Zoomの使い方に不安のある方はぜひご参加ください。

定員50名
参加費
無料

講師：**香山リカ**氏

（プロフィール）1960年札幌市生まれ。東京医科大学卒。大学卒業後、精神科医として臨床を続けるかたわら、現在、立教大学現代心理学部教授を務める。一般向けの著作活動、講演活動も行っている。主な著作に『大丈夫、人間だからいろいろあって』（新日本出版社）など



【お申し込み方法】

←こちらのQRコードを読み込み、必要事項を記入のうえ、お申込みください。
(パソコンからは、<https://ssl.form-mailer.jp/fms/ea69cc98699901>にアクセスし、お申込みください。)

※切：5/31(月)※定員に達し次第締め切ります。

お問合せ先：豊能支部事務局 (office@enokiuchi.jp)